



2025年5月7日

各 位

会 社 名	イリソ電子工業株式会社
代 表 者 の	代表取締役社長 鈴木 仁
役 職 氏 名	(コード番号:6908)
	執 行 役 員
問 い 合 わ せ 先	管 理 本 部 長 大浦 信一郎
電 話 番 号	045-478-3111 (代表)

### 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (2025年5月アップデート)

当社は、2025年5月7日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状を分析・評価し、改善に向けた今後の取り組み方針についてアップデートいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (2025年5月アップデート)」をご覧ください。

以 上



# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (2025年5月アップデート)

証券コード：6908

2025年5月7日

**IRISO** 電子工業株式会社  
IRISO ELECTRONICS CO.,LTD.

私たちは、社会やお客様の期待を超える「つなげる」を実現します  
Together, surpassing expectations by empowering connections  
to enrich society and delight people.

# 1. 現状評価と方針

- 自動車生産台数減少に加え、成長ドライバーの1つであるEV市場が欧米日で減速したことも重なり収支回復が遅れ、現状株価は1株2,500円前後、PBRは0.8倍前後で推移
- 2026年度までの現中期経営計画で掲げた成長戦略及び25年2月公表の構造改革をやり遂げ、経営基盤の再構築や最適資本構成の実現などを通じ、ROE・ROIC10%以上を継続できる経営を実現していく
- 自己株式取得や配当性向40%超、またはDOE5%を目標に安定した配当政策で株主還元を進める

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	26年度目標
ROE	6.4%	4.1%	6.8%	8.6%	7.8%	3.6%	10.0%
ROIC	6.3%	4.0%	6.6%	8.3%	7.3%	3.2%	10.0%
配当金/1株 (円)	50	50	60	80	90	100	150
配当性向	35.8%	55.0%	36.1%	34.0%	37.9%	84.6%	40%超
DOE	2.3%	2.2%	2.3%	2.8%	2.8%	3.2%	5.0%
PBR (倍)	1.47	2.14	1.28	1.71	0.94	0.79	1.50

当社は昨年「資本コストと株価を意識した経営」の取組について公表致しましたが、更に実効性のある経営を行うべく、「資本効率の改善」を通じ「企業価値向上」に向き合っております。

### 【対応方針(抜粋)】

- 中期経営計画で掲げた成長戦略の実践と収益構造改革の実現
- 経営基盤の再構築によりROE10%以上を継続できる経営を推進
- 最適資本構成を実現させ資本コストを上回るROIC達成を図る
- 安定した株主還元を実施するとともに、自己株式取得等も行い、株主還元の拡充を図る

### 【24年度対応状況】

- 期初想定した自動車生産台数の下振れ等により、売上拡大・利益率回復が鈍化する中、構造改革計画を公表し、収益力強化を推進中
- 生産効率向上へ秋田工場竣工
- デットを有効活用し、財務面の安全性を確保しつつ最適資本構成への変革を推進中
- 2百万株強の自己株式取得を実施し株主還元を強化

## 株主還元・株主利益の最大化

企業価値向上（エクイティスプレッド・ROICスプレッド拡大）

ROE・ROIC向上

収益力強化

投資・資金効率

- ✓ 営業活動の原点回帰（顧客接点強化、売価戦略向上等）
- ✓ 経営資源投入効率の向上
  - ・ 投入市場の選択と集中（注力・成長市場）
  - ・ 設備の標準化、生産拠点再編・最適化
  - ・ 資金効率(CCC)の改善
- ✓ 原価低減、DXを活用した生産性向上
- ✓ 高付加価値製品の開発、技術革新の追求

株主資本コスト・WACC低減

資本政策

非財務戦略

- ✓ ネットキャッシュの戦略的活用
  - ・ アライアンス等の成長投資や配当戦略等
- ✓ 財務レバレッジ効果を踏まえた最適資本構成
- ✓ イリソブランド価値の向上
  - ・ CSR、品質管理、顧客対応の迅速化
  - ・ 全てのステークホルダーとの対話を継続
- ✓ ROIC経営の全社浸透と徹底